



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月7日

上場会社名 株式会社ティラド

上場取引所 東

コード番号 7236 URL <http://www.trad.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 宮崎 富夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 金井 典夫

TEL 03-3373-1101

四半期報告書提出予定日 2022年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	97,917	23.1	4,502		5,017		3,088	
2021年3月期第3四半期	79,569	18.0	299		217		1,706	

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 4,579百万円 (%) 2021年3月期第3四半期 2,588百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	435.70	
2021年3月期第3四半期	236.41	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	92,105	45,849	47.4	6,445.76
2021年3月期	86,800	43,218	47.3	5,673.72

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 43,616百万円 2021年3月期 41,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		0.00	0.00
2022年3月期		40.00			
2022年3月期(予想)				50.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,900	19.3	5,200	311.5	5,000	224.5	2,700	317.8	373.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	8,380,711 株	2021年3月期	8,380,711 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,613,946 株	2021年3月期	1,145,779 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	7,087,843 株	2021年3月期3Q	7,219,049 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

個別業績予想の修正につきましては、2021年5月17日に公表しました業績予想を修正しました。

・2022年3月期通期個別業績予想値の修正(2021年4月1日~2022年3月31日)

修正予想 売上高 69,300百万円、営業利益 800百万円、経常利益 4,500百万円、当期純利益 3,300百万円、1株当たり当期純利益 487.68円

連結業績予想につきましては、米国子会社、中国子会社等において、半導体不足の影響による取引先減産の影響等により、予測比減益となる見込みであることから、2021年5月17日に公表しました業績予想の見直しは、行っておりません。

詳細は、本日(2022年2月7日)公表いたしました「個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

本資料は記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	12
販売の状況(連結)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経済環境は、持ち直しの動きがみられたものの、半導体不足、原材料の高騰、及び新型コロナウイルスの感染拡大の影響等により依然として厳しい状況にあります。今後の景気は、半導体不足の解消及びコロナ禍からの回復動向等に左右されることから、不透明感が引き続き継続することが懸念されます。

このような状況の中、当企業集団の売上高（外貨ベース）は、国内外において、前年同期比で大幅に増加しました。営業利益は、全地域において増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、法人税等の増加がありましたが、売上高等の大幅増加により、前年同期比増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比18,348百万円増加し、97,917百万円（23.1%増）、営業利益は4,802百万円増加し、4,502百万円、経常利益は5,235百万円増加し、5,017百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,794百万円増加し、3,088百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

連結子会社の当第3四半期連結累計期間の決算日は9月30日であり、連結財務諸表の作成にあたっては同日現在の財務諸表を使用しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。該当するセグメントは、米国、欧州、アジア、中国であります。

国内子会社の決算日は連結会計年度の末日と一致しております。該当するセグメントは、その他であります。

セグメント	売上高				営業利益			
	前第3四半期連結累計	当第3四半期連結累計	増減	増減率※ (外貨ベース)	前第3四半期連結累計	当第3四半期連結累計	増減	増減率※ (外貨ベース)
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(%)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(%)
日本	35,566	44,556	8,989	25.3	△1,248	1,045	2,293	—
米国	17,152	21,677	4,524	19.4	△1,563	△397	1,166	76.0
欧州	1,875	3,203	1,328	51.9	△317	△117	199	66.7
アジア	8,119	10,748	2,629	25.4	632	1,733	1,100	169.1
中国	16,057	17,551	1,494	△0.2	2,099	2,182	82	△6.6
その他 (含む消去)	798	179	△618	△77.5	98	56	△41	△42.2
合計	79,569	97,917	18,348	18.2	△299	4,502	4,802	—

※表中の増減率（外貨ベース）は、海外売上の為替換算レート変動による差異を補正した場合の増減率です。

① 日本

自動車用及び建設産業機械用売上高は、受注の増加等により、前期比大幅に増加しました。この結果、当該セグメントの売上高は、8,989百万円増加し、44,556百万円となりました。

営業利益は、売上等の大幅増加等により、前年同期比2,293百万円増加し、1,045百万円となりました。

② 米国

自動車用売上は、新規受注機種種の量産開始等により、前期比大幅に増加しました。建設産業機械用売上は、旧型品の生産停止により、前期比減少しました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比4,524百万円増加し、21,677百万円となりました。外貨ベースでは、19.4%の増加となりました。

営業利益は、売上等の大幅増加等により、前年同期比1,166百万円改善し、△397百万円となりました。外貨ベースでは、76.0%の増益となりました。

③ 欧州

チェコ及びロシアにおいて自動車用売上高については、受注の増加等により、前期比大幅に増加しました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比1,328百万円増加し、3,203百万円となりました。外貨ベースでは、51.9%の増加となりました。

営業利益は、売上的大幅増加等により、前年同期比199百万円改善し、△117百万円となりました。外貨ベースでは、66.7%の増益となりました。

④ アジア

タイ、インドネシア及びベトナム拠点ともに自動車用売上高は、受注の増加等により、前期比大幅に増加しました。この結果、当該セグメントの売上高は、前年同期比2,629百万円増加し、10,748百万円となりました。外貨ベースでは、25.4%の増加となりました。

営業利益は、売上的大幅増加等により、前年同期比1,100百万円増加し、1,733百万円となりました。外貨ベースでは、169.1%の増益となりました。

⑤ 中国

自動車用売上高は、日系客先の受注は増加したものの、商用車の販売減少等により、前期比減少しました。建設産業機械用売上高は、受注の増加等により、前期比増加しました。この結果、当該セグメントの売上高は、外貨ベースで0.2%の減少となりましたが、為替の影響もあり、前年同期比1,494百万円増加し、17,551百万円となりました。

営業利益は、外貨ベースで6.6%の減益となりましたが、為替の影響もあり、前年同期比82百万円増加し、2,182百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金及び棚卸資産等の増加により、前連結会計年度末比5,304百万円増加し、92,105百万円となりました。

負債は、買掛金等の増加により、2,672百万円増加し、46,255百万円となりました。

純資産は、利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加等により、2,631百万円増加し、45,849百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前年同期比970百万円減少し、14,308百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの増減要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期利益の増加により前年同期比1,266百万円増加し、6,772百万円のキャッシュインとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資が前年同期比861百万円増加し、4,402百万円のキャッシュアウトとなりました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計であるフリー・キャッシュ・フローは、前年同期比405百万円増加し、2,370百万円のキャッシュインとなりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得及び短期借入金の減少等により、支出が前年同期比3,065百万円増加し、3,129百万円のキャッシュアウトとなりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

個別業績予想の修正につきましては、2021年5月17日に公表しました業績予想を修正致しました。

連結業績予想につきましては、米国子会社、中国子会社等において、半導体不足の影響による取引先減産の影響等により、予測比減益となる見込みであることから、2021年5月17日に公表しました業績予想の見直しは、行っておりません。

詳細は、本日(2022年2月7日)公表いたしました「個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,403	14,388
受取手形及び売掛金	24,145	25,372
電子記録債権	3,025	3,457
有価証券	489	489
商品及び製品	2,962	3,541
仕掛品	523	730
原材料及び貯蔵品	5,290	7,248
その他	2,650	2,776
貸倒引当金	△165	△185
流動資産合計	53,326	57,818
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,844	5,704
機械装置及び運搬具（純額）	14,537	14,073
土地	2,344	2,363
リース資産（純額）	424	386
建設仮勘定	3,642	4,830
その他（純額）	1,883	1,695
有形固定資産合計	28,676	29,054
無形固定資産		
のれん	11	—
その他	1,222	1,483
無形固定資産合計	1,234	1,483
投資その他の資産		
投資有価証券	2,009	2,179
退職給付に係る資産	848	826
繰延税金資産	89	134
その他	628	614
貸倒引当金	△13	△5
投資その他の資産合計	3,563	3,748
固定資産合計	33,474	34,287
資産合計	86,800	92,105

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,074	14,464
電子記録債務	3,295	5,065
短期借入金	10,675	8,649
リース債務	444	542
未払法人税等	484	603
未払費用	2,628	2,843
賞与引当金	1,116	812
役員賞与引当金	—	45
製品保証引当金	578	524
受注損失引当金	148	156
営業外電子記録債務	461	419
その他	1,774	1,497
流動負債合計	34,681	35,626
固定負債		
長期借入金	5,910	7,565
リース債務	1,856	1,594
繰延税金負債	694	1,028
退職給付に係る負債	230	241
資産除去債務	91	92
その他	117	106
固定負債合計	8,900	10,628
負債合計	43,582	46,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,570	8,570
資本剰余金	7,521	7,533
利益剰余金	27,466	30,272
自己株式	△2,258	△3,722
株主資本合計	41,299	42,654
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,171	50
退職給付に係る調整累計額	920	912
その他の包括利益累計額合計	△250	962
非支配株主持分	2,169	2,233
純資産合計	43,218	45,849
負債純資産合計	86,800	92,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	79,569	97,917
売上原価	73,174	85,859
売上総利益	6,394	12,057
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	947	1,336
給料及び手当	1,576	1,757
賞与引当金繰入額	147	215
役員賞与引当金繰入額	0	45
退職給付費用	63	56
福利厚生費	836	861
製品保証引当金繰入額	180	394
研究開発費	851	914
その他	2,091	1,973
販売費及び一般管理費合計	6,693	7,555
営業利益又は営業損失(△)	△299	4,502
営業外収益		
受取利息	95	112
受取配当金	3	2
持分法による投資利益	—	303
為替差益	17	105
補助金収入	112	8
その他	197	170
営業外収益合計	427	703
営業外費用		
支払利息	210	174
持分法による投資損失	122	—
その他	13	14
営業外費用合計	345	188
経常利益又は経常損失(△)	△217	5,017
特別利益		
固定資産売却益	43	10
貸倒引当金戻入額	—	5
ゴルフ会員権売却益	—	11
特別利益合計	43	26
特別損失		
固定資産売却損	33	6
固定資産除却損	156	64
関係会社清算損	11	—
課徴金等	3	—
特別損失合計	205	71
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△379	4,972
法人税、住民税及び事業税	1,030	1,502
法人税等調整額	△17	293
法人税等合計	1,013	1,795
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,393	3,176
非支配株主に帰属する四半期純利益	313	88
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,706	3,088

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,393	3,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	—
為替換算調整勘定	△1,057	1,451
退職給付に係る調整額	△5	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	△134	△40
その他の包括利益合計	△1,195	1,403
四半期包括利益	△2,588	4,579
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,855	4,301
非支配株主に係る四半期包括利益	267	278

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△379	4,972
減価償却費	4,679	4,232
退職給付費用	△9	△13
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	46	31
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	90	△2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△762	△305
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△43	45
製品保証引当金の増減額(△は減少)	33	△69
固定資産除却損	156	64
固定資産売却損益(△は益)	△9	△3
課徴金等	3	—
受取利息及び受取配当金	△99	△115
支払利息	210	174
為替差損益(△は益)	△11	△39
持分法による投資損益(△は益)	122	△303
売上債権の増減額(△は増加)	249	△632
棚卸資産の増減額(△は増加)	765	△2,240
仕入債務の増減額(△は減少)	1,741	2,473
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△183	△236
その他の流動負債の増減額(△は減少)	261	△31
その他	60	46
小計	6,916	8,047
利息及び配当金の受取額	91	208
利息の支払額	△205	△159
法人税等の支払額	△1,294	△1,323
課徴金等の支払額	△3	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,505	6,772
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,524	△3,727
有形固定資産の売却による収入	174	26
無形固定資産の取得による支出	△210	△406
投資有価証券の売却による収入	1	7
定期預金の預入による支出	△786	△1,036
定期預金の払戻による収入	761	765
資産除去債務の履行による支出	—	△100
その他	42	69
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,540	△4,402
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,616	△647
長期借入れによる収入	—	3,820
長期借入金の返済による支出	△760	△4,096
自己株式の取得による支出	△0	△1,501
配当金の支払額	△359	△281
非支配株主への配当金の支払額	△97	△103
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△59	—
その他	△402	△319
財務活動によるキャッシュ・フロー	△64	△3,129
現金及び現金同等物に係る換算差額	△346	452
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,554	△306
現金及び現金同等物の期首残高	13,724	14,614
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,279	14,308

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年7月20日開催の取締役会決議に基づき、取締役及び常務執行役員に対する譲渡制限付株式報酬として2021年8月20日付で、自己株式18,047株の処分を実施いたしました。また、2021年8月2日開催の取締役会決議に基づき、自己株式485,700株の取得を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,462百万円、資本剰余金（自己株式処分差益）が12百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が3,722百万円、資本剰余金が7,533百万円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準の適用により、有償支給取引について、従来は、有償支給した支給品について消滅を認識しておりましたが、支給品を買い戻す義務を負っている場合、当該支給品の消滅を認識しない方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上原価は24百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ24百万円増加しております。なお、利益剰余金の当期首残高は、1百万円減少しております。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症による当社グループ事業への影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 3	合計
	日本	米国	欧州	アジア	中国	計		
売上高								
外部顧客への売上高	35,566	17,152	1,875	8,119	16,057	78,771	798	79,569
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	3,872	188	177	82	1,059	5,380	1,322	6,703
計	39,439	17,341	2,052	8,202	17,116	84,151	2,120	86,272
セグメント利益又は 損失(△)	△1,248	△1,563	△317	632	2,099	△397	18	△379

(注) 1. 当社は、生産・販売体制を基礎とした当社・現地法人のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」、「欧州」、「アジア」、及び「中国」の5つを報告セグメントとしております。

2. 各報告セグメントに属する主な国又は地域

欧州……………チェコ・ロシア・ドイツ

アジア……………タイ・インドネシア・ベトナム

3. 「その他」の区分は、報告区分に含まれない事業セグメントであり、運送業などを営む国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	△397
「その他」の区分の利益	18
セグメント間取引消去	79
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△299

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 3	合計
	日本	米国	欧州	アジア	中国	計		
売上高								
外部顧客への売上高	44,556	21,677	3,203	10,748	17,551	97,738	179	97,917
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	5,650	90	201	138	1,423	7,504	1,436	8,940
計	50,207	21,767	3,405	10,886	18,975	105,242	1,615	106,857
セグメント利益又は 損失(△)	1,045	△397	△117	1,733	2,182	4,445	38	4,484

(注) 1. 当社は、生産・販売体制を基礎とした当社・現地法人のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」、「欧州」、「アジア」、及び「中国」の5つを報告セグメントとしております。

2. 各報告セグメントに属する主な国又は地域

欧州……………チェコ・ロシア・ドイツ

アジア……………タイ・インドネシア・ベトナム

3. 「その他」の区分は、報告区分に含まれない事業セグメントであり、運送業などを営む国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	4,445
「その他」の区分の利益	38
セグメント間取引消去	18
四半期連結損益計算書の営業利益	4,502

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

販売の状況（連結）

（単位：百万円）

営業年度 用途	前第3四半期連結 累計期間 (2020年4月1日 ～2020年12月31日)		当第3四半期連結 累計期間 (2021年4月1日 ～2021年12月31日)		差引		前連結会計年度 (2020年4月1日 ～2021年3月31日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)	金額	構成比(%)
自動車用	60,036	75.5	71,343	72.9	11,307	18.8	85,817	75.9
建設産業機械用	15,866	19.9	23,080	23.6	7,213	45.5	22,381	19.8
空調機器用	1,510	1.9	1,621	1.6	110	7.3	1,961	1.7
その他	2,155	2.7	1,872	1.9	△282	△13.1	2,885	2.6
合計	79,569	100.0	97,917	100.0	18,348	23.1	113,046	100.0

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。